

事業所名

天使のえがお

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		子どもたちの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する為適切な指導、及び必要な支援を行う。						
支援方針		五領域の支援を中心に、障がいを持つお様が日常生活における基本動作を習得し、自立に向けた適切な療育を行い、児童と家族がよりよい生活が出来るように支援していきます。						
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	ADL（日常生活動作（食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のことを指します））の向上を促し、身辺自立を目指トレーニングを実施していく。						
	運動・感覚	ビジョントレーニングを中心に療育を組み立て、固有覚や空間認知などといった感覚の統合を図るトレーニングを実施していく。						
	認知・行動	ABA（行動応用分析学）を中心に療育を組み立て、本児の認知・行動面の改善を図るよう実施していく。						
	言語 コミュニケーション	ST（言語聴覚士）の指導の下、個別療育に言語発達に関わるトレーニングを盛り込み実施していく。						
	人間関係 社会性	SST（ソーシャルスキルトレーニング）を中心に療育を組み立て、良好な人間関係の構築やマナーの習得、社会性スキルを身に付けられるように実施していく。						
家族支援		家庭内の困り感や悩み事を聞き取った際は、適切なアドバイス又は関係機関へ繋げるように支援していく。			移行支援	必要に応じて、対象となる教育機関へ、保護者様の同意を経て、情報の共有を行う。		
地域支援・地域連携		必要に応じ行っていく。			職員の質の向上	社内研修や外部研修を積極的に取り入れ、職員の療育に対する質の向上を図る。		
主な行事等		季節ごとの恒例行事 3事業所合同イベント（毎月） 田植え・稲刈り						